

新月の木国際協会研究会 2014 参加案内

～新月伐採・新たな取り組み～

新月伐採の現認制度の規定を決め、伐採・現認を行ってきましたが、現場を抱える会員と現認制度を管理する協会の立場の違い、商慣習の違いから、さまざまな課題が浮き彫りにされてきました。新月の木の運動を推し進めていくために、木材を扱う現場に立ち帰り、木材の実際の姿を受容し、これから先に、「新月の木」というブランドを品質保証へ昇華させるには何が必要かを討論し、その方向へさらなる一歩を踏み出さなければなりません。

自然のリズムに従い、月のリズムを知り賢く木材を扱うことで、森林を守り、健康を守り、そのうえで山の木を管理することにも、流通させることにも全体として何が有効なのか、私たちが取り組んでことを広く公開し、だれもが取り組める新月伐採の方法を伝えます。そのために他団体との情報交換も含めた新たな取り組みをしていきたいと思えます。会員外の方もどうかふるってご参加ください。

日時 2014年11月15日 (土) 下弦 23夜

場所 ちよだプラットホームスクエア 東京都千代田区神田錦町 3-21

[Tel:03-3233-1511](tel:03-3233-1511) <http://www.yamori.jp/>

プログラム

研究発表

13:30～16:30

1. 会長挨拶 増田正雄 (理事長)
2. 研究発表Ⅰ 新月伐採の基礎知識
3. 研究発表Ⅱ 木材の品質 2013十勝産出 ヤチダモの経過
乾燥に必要な条件と品質の良し悪し
宮嶋 望 (副理事長)
4. 研究発表Ⅲ 新月伐採の流通方法 (新提案)
岩越松男 (副理事長)
5. 自由討議
新月伐採の流通最新情報 (今年度の伐採地予定発表)
産地の情報 吉野 (吉野森久銘木店) 秦野 (秦野森林組合 諸戸林業)
小田原 (辻村山林、杉山精一) 智頭 (サカモト) 十勝 (本別森林組居合 他
(以上 一部交渉中)

参加費 2000円 当日受付 定員 36名